

Q：地震のメカニズムはおぼろげながら理解しましたが、何とか防げませんか？

A：地震や津波の発生を防ぐことは不可能です。出来ることは如何に速く予報や警報出すか、発生したときどう対処するか、が、研究課題です。

今回の東日本大震災 M9.0、大津波 15m を予報または警告した機関はありません。

地震専門機関、専門の学者、研究者の一致した見解は、三陸沖で大きくプレ-トが動くより先に、東海、南東海、南海で地震が発生すると推測し、その事に関するシンポジウムが神戸で開催され、その討議最中に東日本大震災が起きました。

ですから、今回の地震との連鎖はなく、全く別物として今後、東海、南東海、南海の地震が何時発生してもおかしくない状況に在るのは変わりません。

但し、それが何時なのかは専門家・機関でも全く判りません。

従って、「何時地震が発生する」「何処で発生する」とか、日時や場所が指定された予報や情報、言動はすべてデマだと冷静に判断して下さい。

一寸古い話ですが「1983年9月X日、富士山大爆発」という本が出版され、話題になりましたが、更に話題になったのが著者が、「もし爆発しなかったら、オレのハラをキル」と宣言したことです。

勿論、爆発もしませんでしたし、ハラもキリませんでした。

ただし、この著者が気象庁のOBで、現職時は気象観測に従事していた専門家でしたから信憑性ありと判断した人も居たようで、気象庁は打ち消しに大童でした。

或は「ノストラダムスの大予言」で人類の終末論を唱えた人もおりました。

2009年11月、ハリウッド映画「2012」が公開、

2012年、太陽のニュ-トリノが変化して地球のコアが過熱、地表がその熱で地殻が崩壊、地震、火山噴火、大津波、地割れ等々、あらゆる異変をCGを駆使しての特撮映画でしたが、B級でしたが映画としては面白かった。



Q：地震の観測はどうやって行っているのですか？

A：我国で地震予知研究が組織的に行われるようになったのは、1960年春の地震学会で提案され、1969年、地震予知連絡会が、国土地理院長の私的な諮問機関として発足したのが最初で、重点的な特定観測地域や観測強化地域が指定された。

1978年：大規模地震対策特別措置法成立

1979年：地震防災対策強化地判定会設置

1995年：兵庫県南部地震発生

地震防災対策特別措置法制定

地震調査研究推進本部設置

2001年：国土の地震基本観測網として、高感度地震計、広い周波数をもつ高性能地震計、強震動を記録する強震計、地表の変動を記録するGPS観測網が整備された。